

CMP Common Modular Platform

資料抄訳



CMP (Common Modular Platform)はグループPSAをカバーする、まったく新しいモジュラー構造のマルチエネルギー対応プラットフォームです。

グループPSAの戦略にそって開発された、R&Dコストと製造プロセスの効率化および動力源の多様化に対応し、さらなるレベルアップを狙った完全新規設計プラットフォームです。次世代B、CセグメントのすべてのPSA車両をカバーし、まずは2018年発表のDS 3 CROSSBACKから採用されます。

2019年から電動化パワートレインの市販を行うことをすでに発表しているグループPSAとしては、これらのプラットフォームはEMP2（プジョー308、3008、5008、シトロエンランドC4スペースツアラー、DSオートモビル DS 7 CROSSBACK）とこのCMPが担うことになります。

今後、特にシティカーに属す中核モデルはすべて、このCMPを用います。また、100%電動パワートレインにも対応しこれをeCMPと称します。2021年までにグループPSAは7モデルの電動化車両をeCMPをベースに開発する予定です。

Cセグメント、Dセグメントの車体には、EMP2プラットフォームを使い、こちらはガソリン、ディーゼル、そしてガソリンエンジンのプラグインハイブリッド（PHEV）対応となります。2021年までには、プジョー、シトロエン、DSオートモビル、オペル、ヴォクソールの5つのブランドで8つのPHEVモデルを市販予定です。

結果として、電動化戦略においてPSAはBセグメントと一部のCセグメントではフルEV（CMP）、Cセグメント、Dセグメント以上ではフロントモーターもしくはリアモーター4×4のPHEV（EMP2）となるのが基本となります。この2つのプラットフォームによって世界中のあらゆる国、地域のあらゆるカスタマーに、内燃機関、プラグインハイブリッド、フルEVのあらゆる選択肢を提供できるようになります。

2025年までにはグループPSAのすべてのモデルがなんらかの電動化パワートレインになる予定です。



左：CMP 右：EMP2

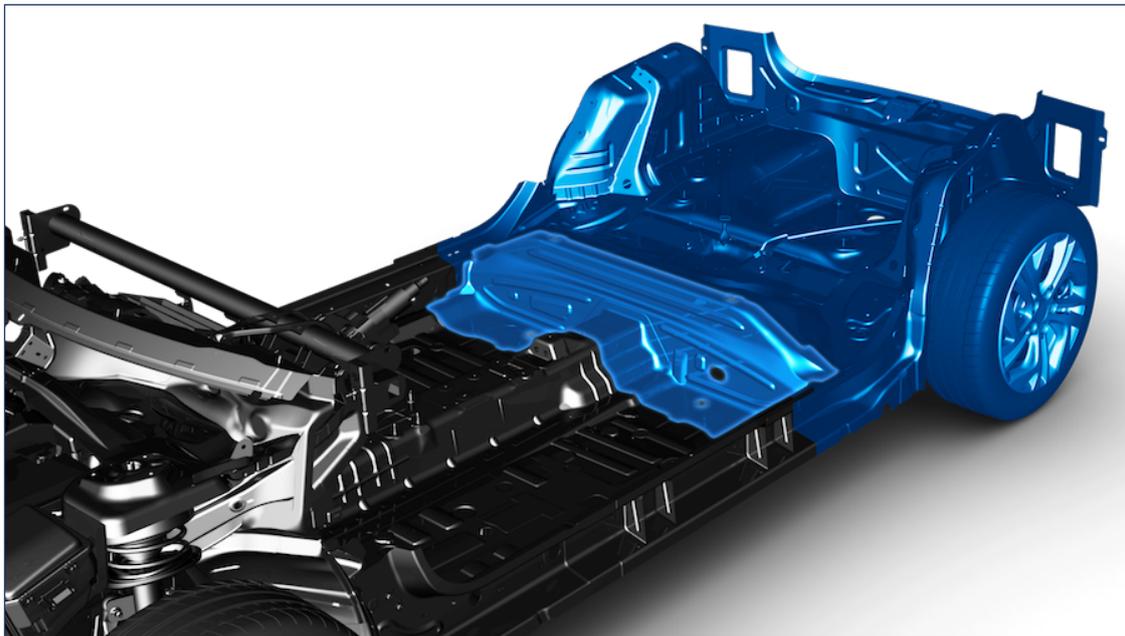
CMPの特長

1 モジュラー構造

コンパクトなシティカー（Bセグメント）およびエントリーレベルとミッドレンジのサルーン、SUV（Cセグメント）をカバー。プジョー、シトロエン、DSオートモビル、オペル、ヴォクソールのグループPSAが持つ5ブランドすべてが使用します。

特筆すべき多様性として以下を任意に組み合わせることができます。

- 2つのトレッド
- 3つのホイールベース
- 3つのリアモジュール
- 複数のホイール径



2 マルチエナジー

CMPは内燃機関仕様とEV仕様の混流生産を可能にしています。これによりカスタマーの要望の変化に柔軟に対応した生産ができます。

CMPによる最初のフルEVモデルはDS 3 CROSSBACKです。これは100kWの電動モーターと50kWhのリチウムイオンバッテリーパックを搭載し、高性能なヒートポンプシステムによるバッテリーの温度管理を行います。

同時に内燃機関も世界でトップクラスの環境性能の浄化システムに対応し、PureTech3気筒エンジンおよびCSRテクノロジーを備えた最新の1.5L BlueHDiクリーンディーゼルを搭載可能。欧州、日本、中国のあらゆる環境レギュレーションに対応します。

また、CMPは設計段階からCO2削減を念頭においています。

CMPによる軽量化でCO2削減1.2g/km以上

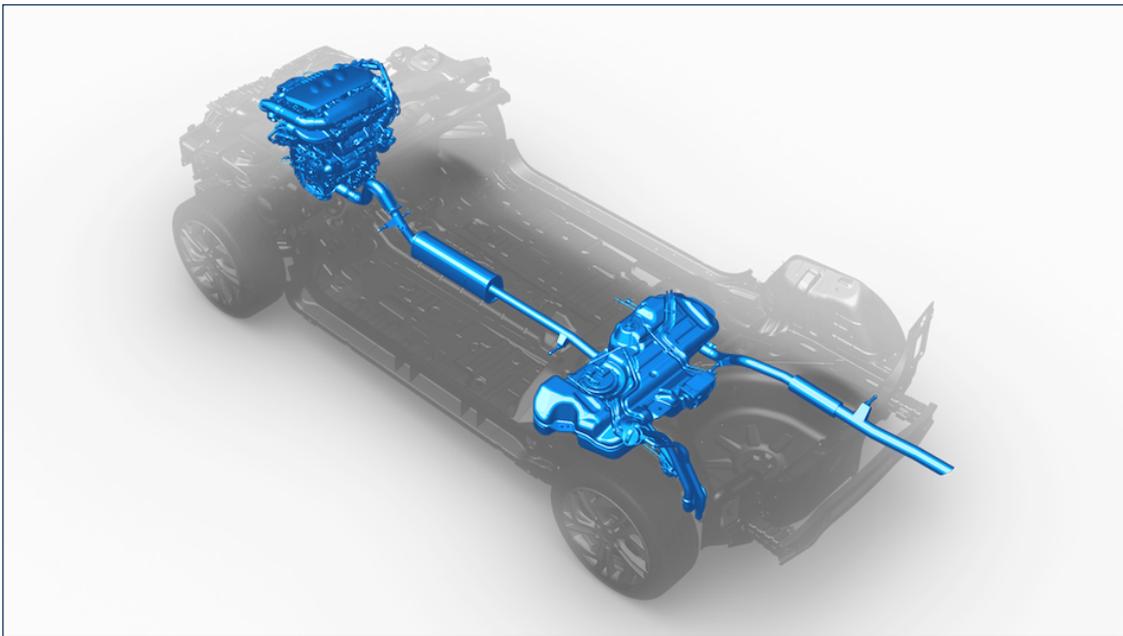
先進高張力鋼（AHSS）、超ハイテン鋼（UHSS）などの素材、プレス硬化型スチール、アルミニウム、複合素材を組み合わせています。

CMPによるエアロダイナミクス向上でCO2削減1.5g/km以上

アンダーボディのスムーズな設計とフロント部分の最適化されたエアインテークなどにより、優れたエアロダイナミクス性能を実現しています。

CMPによる低転がり性能によりCO2削減2.5g/km以上

車軸周りを中心とした機械的なフリクション低減により、これまで以上の低転がり性能を実現。



3 パワフルかつスマート

より上級セグメントのもの利点をコンパクトクラスにもCMPはグループPSAの顧客に、運用面で多くのメリットを提供できます。

■コンフォート性能の向上

音響面での快適性を大幅に向上させました。効率的なノイズの遮断と調音をボディの段階から行っています。

車軸周りに起因するバイブレーションを、構造とフロアのアクリル系素材により軽減しています。

より効果的なクーリングシステムと、空調システムにより室内環境の快適性を向上させています。

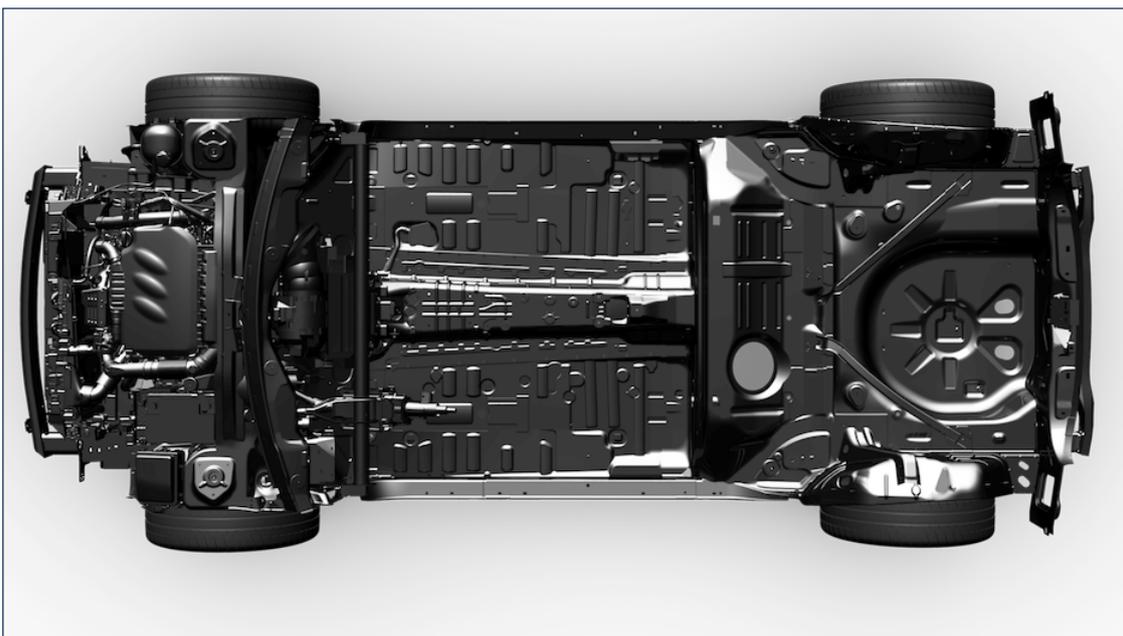
■レベル2運転支援システム

すでにDS 7 CROSSBACK（注：欧州仕様）で実現している先進運転支援システムを導入。

ハイウェイインテグレートドアシスト（HIA）：ストップ&ゴー機能付きアダプティブクルーズコントロール（ACC）にレーンポジショニングアシスト（LPA）を統合。車両の速度管理と車線管理を行います。※ステアリング操作はドライバーによります。

第四世代シティパーク

速度、ブレーキ、ステアリング操作のすべてを支援します。



■ビルドクオリティと信頼性の担保

パフォーマンスと、運用時のクオリティおよび耐久性に関して、少なくとも3年間は新車の状態を維持できるよう今まで以上に留意して車両の開発をしています。グループPSAは既存のBセグメントプラットフォーム（BVH1）の開発、改良を通じて多くの知見を蓄積しており、このセグメントにおける最高のレベルにある卓越したクオリティの実現を自負しています。

■妥協なきレベルの安全性能

私たちの主要マーケットにおけるコンシューマーテスト（ユーロNCAP、チャイナNCAP）で5つ星の獲得を目標に以下の機能を備えています。

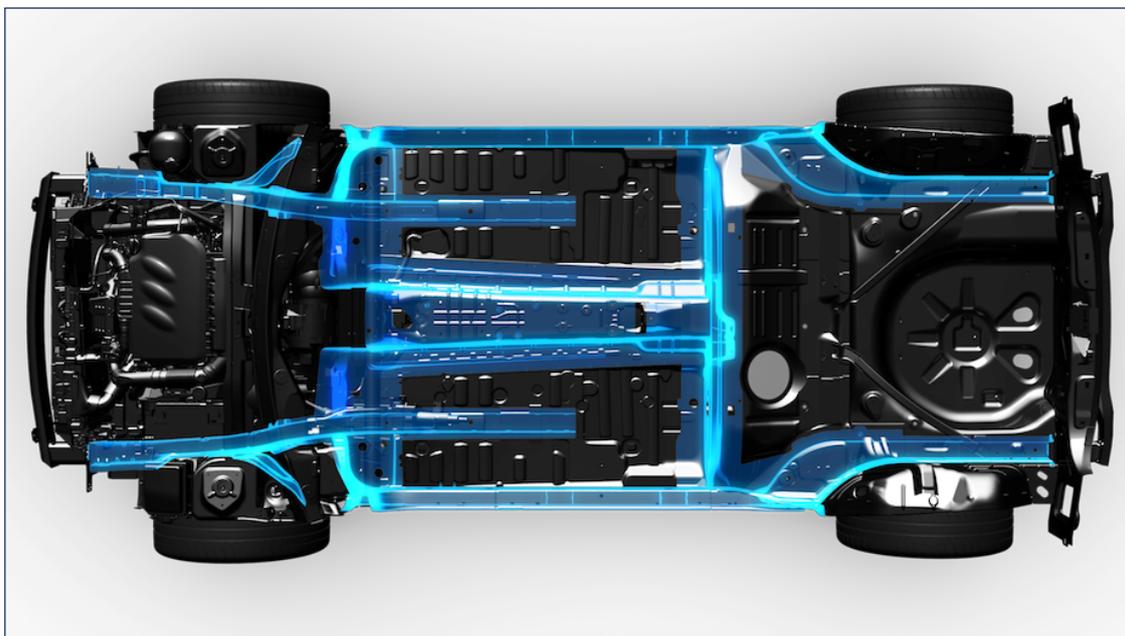
自動緊急ブレーキ：歩行者および自転車保護のためのブレーキシステムは、これまで以上に都市部で光量の少ない状況でも作動します。

レーンキープアシスト：道路の縁の部分も認識

ブラインドスポットセンサー：

速度制限標識センサー：道路標識を認識し制限速度をドライバーに表示し、また速度調整を行います。

事故後のブレーキキープ：万が一の衝突時には、不用意に車両が動かないようにブレーキ力を自動的に保持します。



[以下は電動パワートレインに関する特長]

■室内空間と、トランクスペースの確保

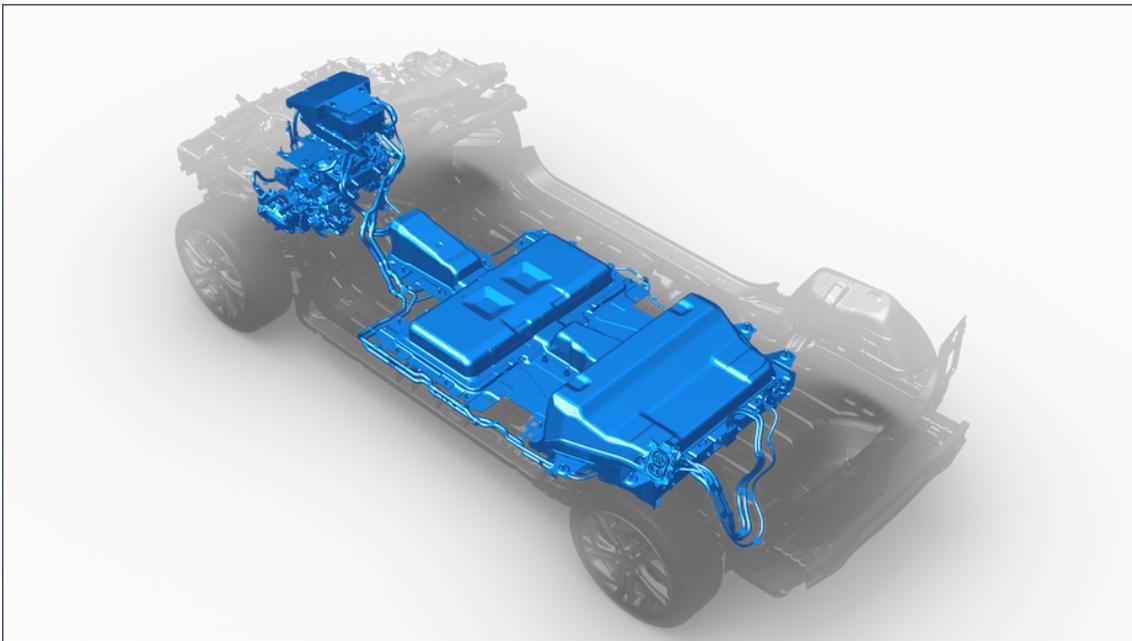
前後シート間のフロア部分に巧みに配されたバッテリーによって、内燃機関仕様との比較においても優れたスペース効率を実現しています。

■実用的な走行距離

車輻によりWLTPサイクルで300~350km、NEDCサイクルで400~470kmの走行が可能です。

■容易な充電

充電の簡便性：顧客の駐車場に備え付けられたウォールボックス（7.4kW-32A単相）で満充電まで8時間以内。超高速充電の場合は、公共の100kW急速充電ステーションの利用により容量の80%までの充電は30分以下。



4 グローバル

今後2年以内でグループPSAの世界中の製造工場生産を開始する予定

この新プラットフォーム、CMPは2018年12月に生産を開始します。また、2年で世界中のグループPSA工場生産ができるようになります。このことはグループPSAの主要戦略エリア（フランス、スペイン、スロヴァキア、中国、アルゼンチン、ブラジル、モロッコ、アルジェリア）でマーケットにマッチした多くの製品バリエーションを量産できるようになることを意味しています。

プラットフォームについて

ここで言うプラットフォームはモジュラー構造の車両のベースとなるものであり、新型車両のコンセプトと設計、製造の中核となるものです。パワートレインを含むプラットフォームで車両の製造原価の40%を占めます。ボディスタイルを問わず下記のものを含んでいます。

- ・アンダーボディ
- ・サスペンションシステム
- ・パワートレイン
- ・基本的な電装システム一式

このCMPひとつで、グループPSAは複数のセグメントの多様なバリエーションのボディスタイルの車両を、世界各地のマーケットに合わせて開発することが可能になります。

まったく新しいCMPによって、各モデルの多様性を維持し、生産開始までのリードタイムを短縮し、製造設備と工場の製造キャパシティの最適化を実現します。

主要なアドバンテージは以下の通りです。

- ・時代に求められる基本性能における競争力の担保
- ・設計および生産段階の効率化と知見の集中
- ・開発スケジュールの短縮
- ・異なるマーケットにおける製品ラインナップの多様性の確保
- ・量産効果のさらなる向上

以上
Ver.1

PEUGEOT CITROËN JAPON Press Contact